

## 市長就任初予算 市民に価値ある財政運営を



公明党 なおの 克

●26年度予算案 これまで我慢して極力借金に頼らない財政運営を行ってきたが、臨時財政対策債の借り入れを行う理由は？

市長) 我慢の選択肢はあったが、基金の取崩しや財政に弾力性がない状況であった。26年度は基金の積み増し等を行い、財政の健全化を図る。

●アウトソーシング推進、新たな財源確保に向けて新しい手法やネーミングライツ、広告収入、受益者負担の見直し等の検討が必要不可欠だ。

市長) 高まる行政需要をサービスが低下しないよう水準を保っていくためにはアウトソーシングが必要。財源確保について、50周年事業として、ふるさと納税の促進を考えているが、今後も研究を進めて参りたい。

●職員の意識改革・人材育成をどのように進めていくのか？

市長) 縦割りの弊害を排除し、適正評価等、職員個々の適正や能力に応じて活躍できる場を与え、人材育成、組織全体の活性化を図っていく。

●新たな会計手法による財務諸表の積極的な取り組み 従来の業務フローやシステム環境の整備、市民への情報共有のあり方等、大きく変化してくる。どのように取り組んでいくか？

市長) 長期財政計画のためには、資産や財産管理がきちんと把握できるような会計手法を研究していかなければならない。

●国分寺駅北口再開発の公共広場の活用を！

平常時は、イベント情報等、市の魅力が発信でき、非常時は災害情報収集や電話も活用できる。無料公衆無線LANのインフラ整備を進めるべき。

市長) 国分寺に合った形での情報発信について、より積極的に検討してまいりたい。

●都市計画整備は市民に丁寧な意向把握を求め国3・4・12号線は駅前再開発の公益性を高め、安心・安全の都市基盤をつくる上で欠かせない。但し、地権者や周辺住民の納得・理解が必要であり、まずは地権者等の意向把握を求め。

市長) 説明会含め、丁寧な説明をして参りたい。

●ごみの共同処理とさらなる減量・資源化に向けて新しい施策を講じ、若者対策、集合住宅対策の推進も減量化への大きな鍵になるのでは？

市長) 若者や集合住宅の方々へ周知を広げ、強めることが必要。減量化にさらに協力して頂く。

●隣接市とのさらなる広域連携を！

定期健診の相互乗入について、残る府中市、立川市、小金井市との解決の糸口を探るべきだ。

市長) 今後も粘り強く交渉を重ねて、市民にとってよりよい医療環境をつくってまいりたい。

●安心・安全の地域づくりのために

避難行動要援護者名簿の作成が義務付けられた。今後、どのように支援の輪を広げていくのか？

市長) 地域防災計画及び危機管理マニュアル策定委員会で検討してまいりたい。

●老朽化した施設の効率的な維持補修対策を！

26年度の全施設調査は、本当に重要である。今後の更新計画のベースをつくり、市民に丁寧な情報提供・合意形成に向けた取り組みが必要だ。

市長) 26年度は約250施設の劣化状況を調査分析する。結果を取りまとめ、市報等を通じて情報の共有化、理解を得る手法を考えていきたい。

●ぶんバスの試行運転について、ともかく速やかに実施をお願いしたい。

●地域にあった新しい地域福祉の構築を！ 高齢者・障がい者支援で施設のサービス基盤拡充に向け、事業者に積極的に情報提供をしながら誘致活動をしていく必要がある。一方、地域ケアシステムの予算を活用し、いかに地域に合った新しい国分寺市の地域福祉を築いていくか？(市長) 老健施設を始め、施設の拡大・拡充は必至。拡充に向けて取り組みを進めてまいりたい。地域に合った形での地域福祉計画というきめ細かなところまでやっていかなければいけない。

## 本当に行政の無駄は 徹底的に削減されたか？



政策市民会議国分寺 及川 妙子

全体の印象は、新しい施策がいくつもあり市長の意気込みを感じるが、反面よくわからないものや当然入っているべきものがいくつか抜けていると感じた。

1.市政運営にあたっての基本方針について=市長の考える効率的、効果的な市政運営はどういうものなのかイメージがわからない。

(1)現状は仕事の量がまちまちで縦割り組織の弊害があり情報共有もうまくいっていない、職員一人一人の能力も最大限に発揮されていない、チームワークもとれていない。また、正規職員と嘱託職員の役割分担が明確になっておらず、適正な人事配置が行われていない。

市長がかかわっても職員はそのままだが、リーダーがかかわれば組織は変わる。急激な変更はストレスを生む。職員のメンタル面の配慮は？

→職員の悩みや課題、職場環境を改善し、ストレスを軽減したい。

(2)市政戦略室は市長の特命事項についてスピーディーに実行する組織とのことだが、本来はすべての組織がそうあるべきではないか？

→縦割りの話だ。横車をいろいろな組織に入れていきたいということである。

(3)弁護士配置の具体的体制は？

→契約等についてのリーガルチェックや法的対応に常勤である。

(4)臨時財政対策債の借り入れについて

今回どうしても借りる必要があるのか？アウトソーシングの推進、新たな財源の確保、行政の無駄を徹底的に削減することが前提条件だがこれはクリアされているか？

→ゼロベースの積み上げ方式が無駄の削減につながった。これまでのひずみをなくし財政の弾力化を図りたい。基金の積み増しをしたい。

2.行政の重点方針について

(1)国分寺駅北口再開発について=今後の懸念として建設業の人材不足や資材の高騰について市長の見解は？→特定建築者にしっかりやっただけことが前提である。

(2)ごみの有料化以降不法投棄が目に見えるが対策は？→パトロールを強化し個別指導する。

(3)緑の基本計画が入っていないなぜ「環境基本計画」が入っていないのか？→たまたま載せなかっただけである。

(4)道路ストック総点検について=バリアフリー新法では駅から続く道路は100%バリアフリーが義務づけられている。国分寺駅南口の西側に段差があり車椅子利用者から改善が求められているが？→研究して改めて回答する。

(5)介護保険制度の改正について=要支援1・2の訪問介護と通所介護が各自治体対応になる。準備は？→国の推移を見ながらやっていく。

(6)保育施設について=市の計画で1500人+600人=2100名が達成された。今年度の待機児童の見込みは？児童一人あたりの市の負担は100万円である。

→申込者に対して100名近く差がある。さらに保育園の定員増加を図っていきたい。

子ども子育て新システムについても触れられていないのはなぜか？→国から明確な指示がきていないため。

(7)学童保育について=直営の2施設も含めてすべての施設で午後7時まで保育時間を拡大するのか？→そのとおり。

26年度学童保育は100名近く定員オーバーするが対応は？→民間施設の開放等も視野に入れる。

(8)みなし寡婦(夫)控除の適用について=評価する。今回は保育費と学童保育費のみだが、今後拡大する予定は？→検討する。

ホームページのリニューアルについて=安全・安心メールは不審者情報だけでなく、災害情報なども適宜流してほしい。→検討する。

## 第1回定例会陳情の審議結果

第1回定例会では、継続中の9件を審議した結果、一部採択・一部不採択1件、不採択1件、審議未了4件、継続3件となりました。

《審議未了となった陳情》

陳情第25-8号 消費税の税率引き上げの中止を求める陳情

陳情第25-9号 (仮称)新町樹林地へのビニールハウスを設置しないことを求める陳情

陳情第25-11号 新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出に関する陳情

陳情第25-12号 住民の理解・合意の得られない三市による「ごみ処理広域化」の白紙撤回を求める陳情

《一部採択・一部不採択となった陳情》

陳情第25-6号 姿見の池におけるホタル復活に関する陳情

《不採択となった陳情》

陳情第25-10号 国民健康保険税の値上げの中止を求める陳情

《継続となった陳情》

陳情第24-21号 「市民の公民館の利用を有料にしないでください」についての陳情

陳情第25-7号 「空襲被害者等援護法(仮称)の制定を求める意見書」に関する陳情

陳情第25-13号 障がい児及び特別な支援が必要な児童の保育拡充に関する陳情

## 閉会中の委員会等

第1回定例会終了後、平成26年第2回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

4月17日(木)	議会運営委員会
4月18日(金)	ごみ対策特別委員会 (委員会視察)
4月21日(月)	文教子ども委員会
4月22日(火)	厚生委員会
4月23日(水)	建設環境委員会
4月24日(木)	国分寺駅周辺整備 特別委員会
4月25日(金)	総務委員会
4月30日(水)	ごみ対策特別委員会
5月29日(木)	代表者会議 議会運営委員会

いずれも午前9時30分から開始予定です。